



## 多摩交流センターだより

インターネット  
放送による

# 多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催  
後援：武蔵野市教育委員会

9・10月開催予定の講座案内



### 163回 題名 医薬品・薬物の乱用

日時 平成29年9月14日(木) 14:30から約1時間

講師 加藤 哲太 氏

((一社)日本くすり教育研究所代表理事、元東京薬科大学教授)

内容 全国の精神科医療施設における実態調査(2016)から、薬物関連精神障害患者の主たる使用薬物は、覚せい剤(53.3%)に次いで向精神薬が17%を占め、その他に医薬品関連で約12%となっています。覚せい剤、大麻など違法薬物による薬物乱用だけでなく、市民により近い睡眠薬への依存、鎮痛剤による「薬物乱用頭痛」などについてお話しします。



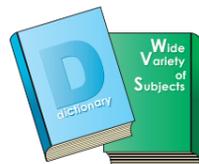
### 164回 題名 9.11あの日あの時のこと、そして日本人として思ったこと

日時 平成29年10月12日(木)14:30から約1時間 講師 福永 佳津子氏((一社)海外邦人安全協会理事)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道(9月14日)、武蔵野市西久保コミュニティセンター(10月12日)
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



## 特定非営利活動法人 東京雑学大学

平成29年10月講義案内

(受講料: 会員は無料、会員でない方は10月12日を除き1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第1105回	10月5日(木) 14:00から	科学の小径 ～生物圏の生成変転～その未来は	いちまる 一丸 節夫 氏 (東京大学名誉教授)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
第1106回 ※	10月12日(木) 14:30から	9.11あの日あの時のこと、 そして日本人として思ったこと	福永 佳津子 氏 (一社)海外邦人安全協会理事)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1107回	10月19日(木) 14:00から	万葉集に「辞世の歌」はあるか	小野 寛 氏 (駒澤大学名誉教授、高岡市万葉歴史館名誉館長)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1108回	10月26日(木) 14:00から	山手線成長ものがたり(仮題)	川口 順啓 氏 (鉄道文学会顧問、元JR東海専務取締役)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1106回は、第164回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

## TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第111回

### 多摩地区の『江戸名所図会』を歩く =江戸と平成の今昔=

【講師】 神谷 政明 氏

イベント関係の会社で、舞台や展示、区や市の催し物や式典等の会場設営の仕事をし、趣味で街道を歩いています。定年後『江戸名所図会』を歩き、現在は「歴史の道を歩く会」の会員となっています。

【内容】 『江戸名所図会』は天保7年(1836年)に出版された江戸の絵入りの地誌・案内書です。全部で目次の項目が1040ヶ所あり、その内絵がある所は670ヶ所程ですが、私は絵のある所と文章だけの所も含めて全て歩いて写真を撮り、アルバム18冊にまとめました。

著者は神田雉子町(司町)の名主の齊藤親子3代で、30数年かけて編纂し、絵は江戸の生まれの絵師・長谷川雪旦が描きました。この本はこの人の絵があることで資料的価値が高いとされています。

今回はその内の多摩地区の12~13枚を選んでご紹介いたします。



日時 平成29年10月22日(日) 14:00~16:00  
場所 多摩交流センター会議室  
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階(府中市寿町1-5-1)  
申込方法 当日会場にお越しください。  
先着50名までとさせていただきます。  
受講料 無料  
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾  
TEL 042-335-0111

### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

#### (公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



## 編集後記

- 暦の上ではすでに秋となり、梅雨あけから天候不順が続いた今年の夏もあと少しです。今後も日照不足が続く確率が高いという長期予報もあります。秋には長雨もありますので、天候は油断できません。
- さて、本紙、2ページでご紹介しているとおり、先日、調布市文化会館たづくりで、当調査会理事長及び開催地の長友調布市長を迎えて、平成28年度調査研究結果発表シンポジウムが開催されました。  
2020東京オリンピック・パラリンピック大会開催まであと3年を切り、まちづくりにスポーツの力を活用するという視点は、ますます重要になっていくものと思われまます。  
このシンポジウムを機会に、スポーツを通じた健康なまちづくりやスポーツイベントによる地域の活性化、障がい者理解が地域に広がるなど、様々な取組が進み、多摩・島しょ地域のレガシーとなっていけば幸いです。
- 9月は自治体の定例議会が開催される月です。東京都でも、7月に実施された都議会議員選挙で、新勢力の都民ファーストの会が多く議席を獲得し、議会構成が大きく変わったことから、改選後初の定例都議会が注目されます。

- 多摩・島しょの市町村にも深い関わりのある都議会には、都民の期待に応え、東京のまちづくりや都民生活の向上、オリンピック・パラリンピックの成功に向けてよりよい方向に政策が進むよう、活発な議論を望みたいと思います。
- 近年、社会経済情勢以外にも「想定外」、「予想を超えて」という言葉が使われる機会が多くなっています。  
7月に起きた九州北部豪雨は、通常なら台風一過で晴天となる台風の通過後に、想定を遥かに超えた年間降雨量に匹敵するような豪雨が降り続き、大きな被害をもたらしました。  
例年ならば、収穫期が間近な頃ですが、被災地の中には実りの秋どころか、未だに復旧も十分でない地域もあります。被災者の皆様にはこの場を借りて心よりお見舞い申し上げます。
- このような予想を超えた出来事は、日本中どここの地域でも起こり得るものです。9月1日は、天候が荒れる頃といわれている二百十日にあたります。普段から災害に対する備えを怠らない心構えが必要だと、改めて痛感します。(M.N)

